

補綴系歯科学

Prosthodontics

2単位 (必修) 2年(後期), 3年(前期)

松山 美和・教授/口腔保健学科 口腔保健支援学講座, 河野 文昭・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 羽田 勝・教授/口腔保健学科 口腔保健福祉学講座

西川 啓介・講師/歯学科 歯科補綴学第二講座(咬合管理学), 友竹 偉則・講師/歯学科 歯科補綴学第一講座(口腔顎顔面補綴学), 細木 眞紀・助教/歯学科 歯科補綴学第二講座(咬合管理学)

星野 由美・助教/口腔保健学科 口腔保健基礎学講座, 藤原 奈津美・助教/口腔保健学科 口腔保健支援学講座

【授業目的】顎口腔機能について理解するとともに、障害がある場合に補綴装置によって機能、形態、審美を回復し維持するための診断、治療、術後管理法について学習する。

【授業概要】顎口腔機能の健全な状態と歯の欠損等によって生ずる障害のある状態について学習し、これらの障害を回復維持するための、各種補綴装置について、診断、治療、術後管理に関する基本的事項を修得する。また、補綴治療を必要とする患者に対する歯科衛生士としての対応の仕方について修得する。

【授業形式】講義

【授業方法】講義形式(視聴覚教材, プリントなどを適宜用いる)

【授業場所】(2年次後期)木曜日1時限目 第6講義室, (3年次前期)木曜日2時限目 第5講義室

【授業テーマ】[授業テーマ]

【キーワード】[キーワード]

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【履修上の注意】補綴系歯科学の授業では授業計画の「内容」の欄に各講義事項のキーワードを掲載している。①受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔に纏めること。②受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔に纏めること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習、復習をすることが出席評価に含まれる。

【到達目標】

1. 歯科補綴治療の概要を説明できる。
2. 歯科補綴治療の意義および目的について説明できる。
3. 基本的な顎口腔系の形態の概要を説明できる。
4. 基本的な顎口腔機能の概要を説明できる。
5. 咬合、顎運動に関する基本的事項について説明できる。
6. 歯の欠損に伴う形態的、機能的、心理的、社会的影響について説明できる。
7. 固定性補綴装置の種類、特徴、構造について説明できる。

8. 可撤性補綴装置(有床義歯)の種類、構成要素について説明できる。
9. 補綴歯科治療における検査、診断に関する基本的事項について説明できる。
10. クラウン・ブリッジ治療の流れとその概要について説明できる。
11. クラウン・ブリッジ治療に用いる器材について説明できる。
12. クラウン・ブリッジ治療における歯科衛生士業務について説明できる。
13. クラウン・ブリッジ治療における患者指導について説明できる。
14. クラウン・ブリッジ治療のメンテナンスについて説明できる。
15. テンポラリークラウンの目的、種類、製作法、調整法、仮着法などについて説明できる。
16. 全部床義歯の治療の流れとその概要について説明できる。
17. 部分床義歯の治療の流れとその概要について説明できる。
18. 有床義歯治療に用いる器材について説明できる。
19. 有床義歯治療における歯科衛生士業務について説明できる。
20. 有床義歯治療における患者指導について説明できる。
21. 有床義歯治療のメンテナンスについて説明できる。
22. インプラント補綴治療の概要を説明できる。
23. インプラント補綴治療における歯科衛生士業務について説明できる。
24. インプラント補綴治療における患者指導について説明できる。
25. インプラント補綴治療のメンテナンスについて説明できる。
26. 補綴歯科治療における歯科技工について概要を説明できる。
27. 補綴歯科治療に関する器材の管理について説明できる。
28. 顎関節症の概要を説明できる。
29. 補綴歯科治療を成功させるための歯科衛生士の役割について説明できる。

【授業計画】

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	補綴歯科治療に関する基礎知識	歯科補綴の概要	この教科で何を学ぶか、歯科補綴学とは、意義(健康、QOL)、目的、補綴治療の適応症、歯科衛生士の役割	1,2	松山
2.	〃	顎口腔系の形態	歯列弓、咬合湾曲、咬合平面、対合関係、基準平面	3	〃
3.	〃	顎口腔系の機能	咀嚼、嚥下、発音、口腔感覚、唾液分泌	4	〃

4.	”	咬合様式と顎運動	咬合と顎運動, 咬合様式, アンテリアガイダンス, ポステリアガイダンス	5	西川
5.	総論 1	歯の欠損に伴う障害と補綴歯科治療	歯の欠損に伴う口腔顔面の変化, 身体的障害, 機能障害, 心理的問題, 社会的影響	6	羽田
6.	”	固定性補綴装置の種類とその構造	クラウンの分類と特徴, ブリッジの分類と特徴, 構造	7	細木
7.	”	可撤性補綴装置の種類とその構造	全部床義歯の用途別分類, 全部床義歯の構成要素, 部分床義歯の分類と構成要素	8	松山
8.	”	補綴歯科治療における検査・診断 1	医療面接, 口腔内検査, スタディモデルによる検査, 咬合, 顎運動, 顎関節の検査	9	”
9.	”	補綴歯科治療における検査・診断 2	相互実習	”	松山, 星野, 藤原
10.	クラウン・ブリッジ	クラウン・ブリッジ治療の流れ	検査, 診断, 治療計画の決定, 前処置, 支台歯形成, 支台築造, テンポラリークラウン, 印象採得, 咬合採得, 口腔内試適, 調整, 研磨, 合着, メンテナンス	10	細木
11.	”	クラウン・ブリッジ治療に用いる器材	切削, 研磨用器材, 印象採得用器材, 咬合採得用器材	11	”
12.	”	クラウン・ブリッジ治療における診療解除	クラウン・ブリッジ(生活歯および失活歯)治療において準備するもの, 治療の流れの中での役割	12	星野
13.	”	クラウン・ブリッジ治療における患者指導とメンテナンス	治療前, テンポラリー仮着時, 装着後, メンテナンス時の患者指導とプロフェッショナルケア	13,14	”
14.	”	テンポラリークラウン(実習)	テンポラリークラウンの目的, 種類, 製作法, 調整法, 仮着法	15	松山, 星野, 藤原
15.	全部床義歯	全部床義歯治療の流れ	印象採得, 顎間関係の記録(咬合採得), ろう義歯試適, 義歯装着, メンテナンス	16	松山
16.	”	全部床義歯治療に用いる器材	印象採得用器材, 咬合採得用器材, 人工歯	18	”
17.	”	全部床義歯治療における診療介助	全部床義歯治療において準備するもの, 治療の流れの中での役割	19	藤原
18.	”	全部床義歯治療における患者指導とメンテナンス	治療前, 義歯装着後, メンテナンス時の観察, 指導, 義歯装着者への配慮	20,21	”
19.	部分床義歯	部分床義歯治療の流れ	印象採得, 咬合採得, ろう義歯試適, 義歯装着, メンテナンス時	17	松山
20.	”	部分床義歯治療に用いる器材	印象採得用器材, 咬合採得用器材, 人工歯	18	”
21.	”	部分床義歯治療における診療介助	部分床義歯治療において準備するもの, 治療の流れの中での役割	19	藤原

22.	”	部分床義歯治療における患者指導とメンテナンス	治療前, 義歯装着後, メンテナンス時の観察, 指導, 義歯装着者への配慮	20,21	”
23.	インプラント	インプラント治療の流れ	インプラントとは, インプラントの構造, インプラント治療の流れ, メンテナンス	22	友竹
24.	”	インプラント治療における診療介助	インプラント治療において準備するもの, 治療の流れの中での役割	23	”
25.	”	インプラント治療における患者指導とメンテナンス	インプラント治療における特別な患者指導	24,25	星野
26.	総論 2	補綴歯科治療における歯科技工	クラウン・ブリッジの制作, 有床義歯の制作, 補綴装置の補修	26	松山
27.	”	器材の管理	診療室の管理, 器具, 器材別滅菌, 消毒, 洗浄, 保管, 技工物の保管	27	星野
28.	補綴歯科の関連疾患	顎関節症	顎関節症概説, 顎関節症の診断と治療, 顎関節症治療における歯科衛生士の関わり	28	西川
29.	総括	補綴歯科治療を成功させるための歯科衛生士の役割	治療の動機付け, リコールへの動機付け, 術後経過に影響を及ぼす要因と防止法(歯周炎, 顎関節症, 歯髄症状, 審美)	29	松山, 星野, 藤原
30.	”	”	”	”	”

【成績評価】筆記試験を行い, 成績が 100 点満点で 60 点以上の者を合格とする。

【再試験】必要に応じて行う。

【教科書】最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴」全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版株式会社

【参考書】

- ◇ 第 2 版 歯科補綴学 専門用語集 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版
- ◇ 全部床義歯学 林 都志夫編 医歯薬出版
- ◇ 小部分床義歯学 藍 稔著 学建書院
- ◇ クラウンブリッジ補綴学 石橋寛二ほか編 医歯薬出版
- ◇ よくわかる口腔インプラント学 赤川安正ほか編 医歯薬出版
- ◇ 顎関節症入門 森本俊文ほか編 医歯薬出版

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217371>

【連絡先】

⇒ 松山 . (オフィスアワー: 火~ 木17:00~ 18:00/6F口腔保健学科・第2研究室)

⇒ 河野 (088-633-9180, fumiaki@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 19:00/6F総合歯科教室)

- ⇒ 羽田 (0886622684, hada@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00/6F口腔保健学科・第1研究室)
- ⇒ 西川 (088-633-7350, keisuke@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (オフィスアワー: 月水金17:00~ 18:00/2F 2補綴・第3研究室)
- ⇒ 友竹 (tomotake@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00/2F 1補綴・資料室)
- ⇒ 細木 (0886-633-7350, hosoki@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (オフィスアワー: 月水金17:00~ 18:00/2F 2補綴・資料室)
- ⇒ 星野 (088-633-7898, star-dh-hoshino7@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00/5F口腔保健学科・第3研究室)
- ⇒ 藤原 . (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00/5F口腔保健学科・第3研究室)

Prosthodontics

2 units (compulsory) 2nd-year(2nd semester), 3rd-year(1st semester)

Miwa Matsuyama · PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, Fumiaki Kawano · PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES

Masaru Hada · PROFESSOR / ORAL HEALTH SCIENCE AND SOCIAL WELFARE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, Keisuke Nishigawa · ASSOCIATE PROFESSOR / FIXED PROSTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY

Yoritoki Tomotake · ASSOCIATE PROFESSOR / REMOVABLE PROSTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY, Maki Hosoki · ASSISTANT PROFESSOR / FIXED PROSTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY

Yumi Hoshimo · ASSISTANT PROFESSOR / FUNDAMENTAL ORAL HEALTH SCIENCE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, Natsumi Fujiwara · ASSISTANT PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Target) 顎口腔機能について理解するとともに、障害がある場合に補綴装置によって機能、形態、審美を回復し維持するための診断、治療、術後管理法について学習する。

Outline) 顎口腔機能の健全な状態と歯の欠損等によって生ずる障害のある状態について学習し、これらの障害を回復維持するための、各種補綴装置について、診断、治療、術後管理に関する基本的事項を修得する。また、補綴治療を必要とする患者に対する歯科衛生士としての対応の仕方について修得する。

Style) Lecture

Manner) 講義形式(視聴覚教材、プリントなどを適宜用いる)

Location) (2年次後期)木曜日1時限目 第6講義室、(3年次前期)木曜日2時限目 第5講義室

Theme) [授業テーマ]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 補綴系歯科学の授業では授業計画の「内容」の欄に各講義事項のキーワードを掲載している。①受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔に纏めること。②受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔に纏めること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習、復習をすることが出席評価に含まれる。

Goal)

1. 歯科補綴治療の概要を説明できる。
2. 歯科補綴治療の意義および目的について説明できる。
3. 基本的な顎口腔系の形態の概要を説明できる。
4. 基本的な顎口腔機能の概要を説明できる。
5. 咬合、顎運動に関する基本的事項について説明できる。
6. 歯の欠損に伴う形態的、機能的、心理的、社会的影響について説明できる。

7. 固定性補綴装置の種類、特徴、構造について説明できる。
8. 可撤性補綴装置(有床義歯)の種類、構成要素について説明できる。
9. 補綴歯科治療における検査、診断に関する基本的事項について説明できる。
10. クラウン・ブリッジ治療の流れとその概要について説明できる。
11. クラウン・ブリッジ治療に用いる器材について説明できる。
12. クラウン・ブリッジ治療における歯科衛生士業務について説明できる。
13. クラウン・ブリッジ治療における患者指導について説明できる。
14. クラウン・ブリッジ治療のメンテナンスについて説明できる。
15. テンポラリークラウンの目的、種類、製作法、調整法、仮着法などについて説明できる。
16. 全部床義歯の治療の流れとその概要について説明できる。
17. 部分床義歯の治療の流れとその概要について説明できる。
18. 有床義歯治療に用いる器材について説明できる。
19. 有床義歯治療における歯科衛生士業務について説明できる。
20. 有床義歯治療における患者指導について説明できる。
21. 有床義歯治療のメンテナンスについて説明できる。
22. インプラント補綴治療の概要を説明できる。
23. インプラント補綴治療における歯科衛生士業務について説明できる。
24. インプラント補綴治療における患者指導について説明できる。
25. インプラント補綴治療のメンテナンスについて説明できる。
26. 補綴歯科治療における歯科技工について概要を説明できる。
27. 補綴歯科治療に関する器材の管理について説明できる。
28. 顎関節症の概要を説明できる。
29. 補綴歯科治療を成功させるための歯科衛生士の役割について説明できる。

Schedule)

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	補綴歯科治療に関する基礎知識	歯科補綴の概要	この教科で何を学ぶか、歯科補綴学とは、意義(健康、QOL)、目的、補綴治療の適応症、歯科衛生士の役割	1,2	松山

2.	”	顎口腔系の形態	歯列弓, 咬合湾曲, 咬合平面, 対合関係, 基準平面	3	”
3.	”	顎口腔系の機能	咀嚼, 嚥下, 発音, 口腔感覚, 唾液分泌	4	”
4.	”	咬合様式と顎運動	咬合と顎運動, 咬合様式, アンテリアガイダンス, ポステリアガイダンス	5	西川
5.	総論 1	歯の欠損に伴う障害と補綴歯科治療	歯の欠損に伴う口腔顔面の変化, 身体的障害, 機能障害, 心理的問題, 社会的影響	6	羽田
6.	”	固定性補綴装置の種類とその構造	クラウンの分類と特徴, ブリッジの分類と特徴, 構造	7	細木
7.	”	可撤性補綴装置の種類とその構造	全部床義歯の用途別分類, 全部床義歯の構成要素, 部分床義歯の分類と構成要素	8	松山
8.	”	補綴歯科治療における検査・診断 1	医療面接, 口腔内検査, スタディモデルによる検査, 咬合, 顎運動, 顎関節の検査	9	”
9.	”	補綴歯科治療における検査・診断 2	相互実習	”	松山, 星野, 藤原
10.	クラウン・ブリッジ	クラウン・ブリッジ治療の流れ	検査, 診断, 治療計画の決定, 前処置, 支台歯形成, 支台築造, テンポラリークラウン, 印象採得, 咬合採得, 口腔内試適, 調整, 研磨, 合着, メンテナンス	10	細木
11.	”	クラウン・ブリッジ治療に用いる器材	切削, 研磨用器材, 印象採得用器材, 咬合採得用器材	11	”
12.	”	クラウン・ブリッジ治療における診療解除	クラウン・ブリッジ(生活歯および失活歯)治療において準備するもの, 治療の流れの中での役割	12	星野
13.	”	クラウン・ブリッジ治療における患者指導とメンテナンス	治療前, テンポラリー仮着時, 装着後, メンテナンス時の患者指導とプロフェッショナルケア	13,14	”
14.	”	テンポラリークラウン(実習)	テンポラリークラウンの目的, 種類, 製作法, 調整法, 仮着法	15	松山, 星野, 藤原
15.	全部床義歯	全部床義歯治療の流れ	印象採得, 顎間関係の記録(咬合採得), ろう義歯試適, 義歯装着, メンテナンス	16	松山
16.	”	全部床義歯治療に用いる器材	印象採得用器材, 咬合採得用器材, 人工歯	18	”
17.	”	全部床義歯治療における診療介助	全部床義歯治療において準備するもの, 治療の流れの中での役割	19	藤原
18.	”	全部床義歯治療における患者指導とメンテナンス	治療前, 義歯装着後, メンテナンス時の観察, 指導, 義歯装着者への配慮	20,21	”
19.	部分床義歯	部分床義歯治療の流れ	印象採得, 咬合採得, ろう義歯試適, 義歯装着, メンテナンス時	17	松山

20.	”	部分床義歯治療に用いる器材	印象採得用器材, 咬合採得用器材, 人工歯	18	”
21.	”	部分床義歯治療における診療介助	部分床義歯治療において準備するもの, 治療の流れの中での役割	19	藤原
22.	”	部分床義歯治療における患者指導とメンテナンス	治療前, 義歯装着後, メンテナンス時の観察, 指導, 義歯装着者への配慮	20,21	”
23.	インプラント	インプラント治療の流れ	インプラントとは, インプラントの構造, インプラント治療の流れ, メンテナンス	22	友竹
24.	”	インプラント治療における診療介助	インプラント治療において準備するもの, 治療の流れの中での役割	23	”
25.	”	インプラント治療における患者指導とメンテナンス	インプラント治療における特別な患者指導	24,25	星野
26.	総論 2	補綴歯科治療における歯科技工	クラウン・ブリッジの制作, 有床義歯の制作, 補綴装置の補修	26	松山
27.	”	器材の管理	診療室の管理, 器具, 器材別滅菌, 消毒, 洗浄, 保管, 技工物の保管	27	星野
28.	補綴歯科の関連疾患	顎関節症	顎関節症概説, 顎関節症の診断と治療, 顎関節症治療における歯科衛生士の関わり	28	西川
29.	総括	補綴歯科治療を成功させるための歯科衛生士の役割	治療の動機付け, リコールへの動機付け, 術後経過に影響を及ぼす要因と防止法(歯周炎, 顎関節症, 歯髄症状, 審美)	29	松山, 星野, 藤原
30.	”	”	”	”	”

Evaluation Criteria) 筆記試験を行い, 成績が 100 点満点で 60 点以上の者を合格とする。

Re-evaluation) 必要に応じて行う。

Textbook) 最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴」全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版株式会社

Reference)

- ◇ 第 2 版 歯科補綴学 専門用語集 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版
- ◇ 全部床義歯学 林 都志夫編 医歯薬出版
- ◇ 小部分床義歯学 藍 稔著 学建書院
- ◇ クラウンブリッジ補綴学 石橋寛二ほか編 医歯薬出版
- ◇ よくわかる口腔インプラント学 赤川安正ほか編 医歯薬出版
- ◇ 顎関節症入門 森本俊文ほか編 医歯薬出版

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217371>

Contact)

- ⇒ Matsuyama . (Office Hour: 火~ 木17:00~ 18:00/6F口腔保健学科・第2研究室)
- ⇒ Kawano (+81-88-633-9180, fumiaki@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:fumiaki@dent.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 19:00/6F総合歯科教授室)
- ⇒ Hada (+81-886622684, hada@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:hada@dent.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00/6F口腔保健学科・第1研究室)
- ⇒ Nishigawa (+81-88-633-7350, keisuke@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:keisuke@dent.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 月水金17:00~ 18:00/2F 2補綴・第3研究室)
- ⇒ Tomotake (tomotake@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:tomotake@dent.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00/2F 1補綴・資料室)
- ⇒ Hosoki (+81-886-633-7350, hosoki@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:hosoki@dent.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 月水金17:00~ 18:00/2F 2補綴・資料室)
- ⇒ Hoshimo (+81-88-633-7898, star-dh-hoshino7@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:star-dh-hoshino7@dent.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00/5F口腔保健学科・第3研究室)
- ⇒ Fujiwara . (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00/5F口腔保健学科・第3研究室)